

拡張現実(AR)技術を用いたルートナビゲーション・広告表示

アプリ開発用ライブラリ NAVIMICHAEL



Point 1 目の風景映像に、3D ルート・
進行方向・広告などを直感的に表示

Point 2 言語フリーで簡単操作、
シンプルなデザイン、実装および
画面カスタマイズも容易

Point 3 各社の地図 API や屋内外の
測位システムと連携、
スマートグラス対応済み



風景映像に3次元のルートを表示する、 誰でも直感的に見て分かる、AR技術を使用した案内機能です。

スマートフォンのカメラを通して、実際の風景に3Dルートを重ねて表示するので、目的地への行き方が瞬時に分かります。また、ルートが常に矢印で表示されるため、入り組んだ道でも安心です。

従来のナビゲーションソフトとは異なり、実際の風景にルート表示されるため、地図上のルートを凝視することなく安全に案内することができます。

■ 屋内案内に対応

屋内の複雑なルート情報でも、3D表示と視点変更機能でルート全体が直感的に分かります。アミューズメント施設や大規模商業施設などの案内ツールとしても活用できます。

また、屋内測位ができない場所でも、QRコードなどにより現在位置情報を取得して、カメラ画像のみで相対的なルート案内を行うことも可能です。

■ さまざまな地図APIと連携

さまざまな地図APIとの連携に対応できる仕様になっており、アプリへの実装も容易です。

地図APIでルート情報を検索後、現在位置を取得すれば、あとはルートデータと現在位置をNAVIMICHAELに指示するだけでAR案内を開始できます。現在位置は、GPSであればNAVIMICHAELが自力で取得することも可能なため、現在位置の指示も不要になります。

■ 言語フリーでシンプルデザイン

日本語・英語・韓国語・中国語（簡体字・繁体字）に対応しています。言語表示は最小限に抑えているため、訪日外国人の方でも直感的に使用できます。観光客の方々へのサービスや、在住者の方々への災害避難連絡などにも活用できます。

■ スマートグラスに対応

エプソン MOVERIO BT-300 にも対応しており、両手が使用できないようなメンテナンス作業時にも活用できます。（弊社は、MOVERIO「パートナープログラム」に登録されています）



MOVERIO BT-300

活用事例

NAVIMICHAELのARナビゲーション技術は、さまざまなアプリケーションやシステムで活用されています。

- ARナビゲーションアプリ「PinnAR (ピナー)」での「ARルートナビゲーション機能」に、NAVIMICHAELの機能が使用されています。



株式会社テレコムスクエア



PinnARの紹介ウェブサイトはこちら



- パナソニック株式会社のナビゲーションサービス「LinkRay ARナビゲーション」に、NAVIMICHAELの機能が使用されています。

「LinkRay ARナビゲーション」は、「LinkRay™」の受信場所を起点として測定し、目的地までのルートを経路画面上で立体的にARで表示して誘導するナビゲーションシステムです。



パナソニック株式会社

LinkRay ARナビゲーションの紹介ウェブサイトはこちら



システム要件

- ・iOS版 NAVIMICHAEL 動作環境 (OS) : iOS 10.0 以上、統合開発環境 : Xcode 10.0 以上、開発言語 : Swift 4.2 以上
- ・Android版 NAVIMICHAEL 動作環境 (OS) : Android OS 7.0 以上、統合開発環境 : Android Studio 3.1 以上、開発言語 : java

SCREEN

株式会社 SCREEN アドバンスドシステムソリューションズ

本社 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る四丁目天神北町1番地の1
www.screen.co.jp/as/

※本カタログは、SCREENグループのヒラギノフォントを使用しています。

※本カタログの各商品名は各社の商標・登録商標です。

※本カタログの仕様ならびに商品デザインは改良のため予告なしに変更されることがあります。

※本カタログに掲載している商品は、日本国内仕様です。



注意

ご使用前には、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。